

環境や人体への有害な影響も懸念される 浄水カートリッジのPFOSおよびPFOA除去試験結果のお知らせ

近年、自然界には存在しないはずの化学物質、有機フッ素化合物PFAS（ピーファス）が全国各地で相次いで検出され、発がん性や子どもの発育への影響など、人体への有害性が懸念されています。

この度グローエジャパンでは、浄水器協会（JWPA）で定められた規格基準（JWPAS B基準）に規定された試験方法により、新たにPFASの一種であるPFOS、PFOAについて自社浄水カートリッジでの除去試験を実施し、ミタ浄水器一体型キッチン混合栓用の浄水カートリッジでPFOS、PFOAの除去を確認できました。

また、よりご安心してお使いいただけるよう、製品パンフレットならびに取扱説明書、個装箱の表記についても順次上記の情報を盛り込んだ内容に変更いたします。

◇PFOS・PFOA除去試験方法

水道水の「水質管理目標設定項目27項目」に設定されたPFOS及びPFOAの濃度の水を各浄水器で80%以上除去できることを第三者試験機関にて確認（浄水器協会自主規格※1による試験に準ずる）しました。

◇浄水カートリッジにおけるPFOS・PFOA除去試験結果

	シリーズ	外観	代表品番	試験結果
ミタ専用カートリッジ	G-JF-K31		JPK61802 JPK61902 JPK61803 JPK61903	合格 総ろ過水量(寿命)にて 80%以上除去
	G-JF-K32			

◇ミタ専用浄水カートリッジのご使用をお勧めします

ミタ浄水器一体型キッチン混合栓の浄水カートリッジは、浄水性能・製品本体の性能を十分に発揮するために、開発・研究を重ねており、セラミックフィルターの製造、活性炭のブレンド、そしてカートリッジの組み立てに至るまで、すべてをLIXIL国内工場で製造しています。

また、製造後には、水質などの評価、安全性や成分分析評価も実施。水の専門チームが一切の妥協を排して、すべての工程と品質を管理し、高いクオリティを追究しています。自社内で整えられた高度な検査体制浄水カートリッジ・水栓の性能を維持し、安定して使用いただけるよう、浄水カートリッジは純正品のご使用をお勧めします。※2

なお、当社では、消費者の皆さまの安全を守り、確実に正規品をお届けするために、LIXIL公式通販サイト/リクシルストアで浄水カートリッジをご購入いただくことを強く推奨しています。

以下LIXIL公式通販サイト「リクシルストア」にて、浄水カートリッジを販売しています。

<お申し込み方法>

◇LIXIL公式通販サイト「リクシルストア」

オンライン：<https://store.lixil.co.jp/>（24時間受付）

電話：0120-1946-01（月～金9:00-17:00受付、祝日・年末年始 夏季休暇は除く）

◇「リクシルストア」ミタ専用カートリッジご購入サイト

オンライン：<https://parts.lixil.co.jp/lixilps/shop/campaign/grohe/filter/>



※1：JWPAS B.210 浄水器の除去性能等試験方法に関する規格基準

※2：純正品以外の浄水カートリッジや部品を使用したことによる故障は、保証期間内や保守契約期間中でも有償修理となりますのでご注意ください。純正品以外の浄水カートリッジが必ず不具合を起こす・性能を満たしていないと断定しているわけではありません。

<本件に関するお問合せ先>

グローエジャパン株式会社

〒107-0052 東京都港区赤坂4-8-18 赤坂JEBL 2F

URL：<https://www.grohe.co.jp/>

MAIL：info_grohe@grohe.co.jp

■参考

・ 有機フッ素化合物（PFAS）とは

PFASとは4700種を超える有機フッ素化合物の総称です。自然界で分解しにくく水などに蓄積することがわかったほか、人への毒性も指摘されており、国際条約で廃絶や使用制限をしています。

近年、有害性や蓄積性が明らかになり、製造・使用が制限されていますが、一部地域の水道水から検出されており、社会問題となっています。

・ PFOS（ペルフルオロオクタンスルホン酸）とは

PFOSとはペルフルオロオクタンスルホン酸（Per Fluoro Octane Sulfonic acid）の略称で、有機フッ素化合物の一種です。PFOSは1940年代にアメリカで開発された界面活性剤で、耐熱性、耐薬品性など非常に優れた安定性を持ち、表面張力を大きく低下させることなどから、撥水剤や紙・布の防汚剤原料、航空機火災に対応する泡消火剤成分などとして幅広く使用されてきました。

・ PFOA（ペルフルオロオクタン酸）とは

PFOAはPFOSと同様の性質を持つ類似化合物のペルフルオロオクタン酸(Per Fluoro Octanoic Acid)の略称で、フライパンのテフロン加工や食品包装紙の撥水加工の際の原料などとして幅広く利用されてきました。

日本でも2010年にPFOSが、2021年にPFOAが規制対象物質に指定されました。2020年には、厚生労働省がPFOS・PFOAのいずれも水質管理目標設定項目に追加し、暫定目標値としてPFOS・PFOAの合計で50ng/L以下と設定しました。なお、環境省では、PFOS・PFASを要監視項目に追加し、指針値（暫定）としてPFOS・PFOAの合計で50ng/L以下と設定しています。

[出典]

厚生労働省水道水質管理の最近の動向について 2022.11.30

環境省水質汚濁に係る人の健康の保護に関する環境基準等の施行等について（通知）
2020.05.28